



NPO 法人  
リタイアメント情報センター  
Retirement & Information Center



# Relive Journal



## “ிரைιβ” ஜர்னல் No.37

**2020年 晩秋号** (11月20日発行)

### < “ிரைιβ” 憲章 >

- 組織、肩書き、経歴にとらわれない自由な生き方
- 知識、経験、技術を生かして社会に貢献する生き方
- 初心に帰って新しい自分を発見する生き方

私たちNPO法人リタイアメント情報センターはこのような生き方を“ிரைιβ”と呼び、その生き方をサポートします

### <目次>

1. 第14期 期首ご挨拶  
(理事長 竹川 忠徳)  
(副理事長(関西支部長) 阿賀 敏雄)
2. コロナ禍を経験して  
(前田 妙子)
3. 蹄鉄を落として  
(会員 鳥居 雄司)
4. ジュリエット・グレコ  
(会員 ヤスコ Wild(杉山 泰子))
5. < 街路の臭い > & < 新老人? 新世界? >  
(会員 赤神 潔)
6. 高野山に妙音天女を訪ねるツアー (別添ファイルを参照願います)  
(会員 石尾 賢一)
  - ・ ” 傑人 “ 新家莊平先生のこと (木津谷 文吾)
  - ・ 高野山ツアーに参加して (木津谷 文吾)



## 1. 第14期 期首ご挨拶

**NPO法人リタイアメント情報センター**

**理事長 竹川 忠徳**



昨年度は期半ばに勃発(!)したコロナ禍の為、予定されていた事業活動の多くがやむ無く中止の憂き目を見ましたが、皆様方のお力添えのお蔭を持ちまして、講演会、りらいぶジャーナル発行、コロナ・ポケットマニュアル発行など、それなりの活動成果をあげさせて頂きました。茲に、衷心よりお礼申し上げます。

今期も三密自粛の継続が予想され、私共の活動もニューノーマル(新常态)対応が求められつつあります。従いまして、事務局を中心にIT(情報技術)を用いた活動を進めるべく鋭意努力中でございますので、何卒よろしくご理解・ご協力の程お願い申し上げます。これに伴い事務経費削減を鑑み、年会費を下記の通り大幅に値下げ致しました。

尚、幹部人事体制は下記の通りです。新たに、監事として東原功氏にご就任頂きます。氏は、スーパーコンピュータ会社々長ご退任後、税理士資格を取得、現在は美大で絵画の勉強中とのことです。その知識・経験・技術を私どもの活動に活かして頂くことを期待するものです。

それでは、「人を助けて我が身喜ぶ」と言う同志が集うコミュニティが一層発展することを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

記

### 一、14 期年会費

正会員	5,000円
賛助会員	2,000円

なお14期は、  
2020年9月1日から2021年8月末日迄

### 一、14 期幹部人事体制

理事	竹川 忠徳	理事長
理事	阿賀 敏雄	副理事長、関西支部長
理事	島村 晴雄	副理事長、事務局長
理事	山本 昌弘	元法政大学教授
理事	太田 治夫	弁護士、 前東京弁護士会副会長
理事	宮崎 哲郎	元南国暮らしの会理事長
監事	東原 功	税理士
顧問	渡嶋 八洲夫	元キャメロン会会長
顧問	中野 寛成	元衆院副議長 ・国家公安委員長

以上

**NPO法人リタイアメント情報センター**

**関西支部長 阿賀 敏雄**



コロナ禍にあっても、明るく楽しいシニアライフを発信して参ります。  
ご参加賜りますよう、お願い申し上げます。



① ゴーツートラベルの活用

高野山ツアー、マスク工場見学&温泉ツアー  
(60名乗り大型バスに定員20名にて催行)

② ベルウッド・ミニ講演会

講師：伊丹淳一氏、唐渡吉則氏、成田研一氏、  
麻殖生健治氏、西澤信善氏

③「足あとを振り返って 伊丹淳一」発刊

④ハッピーバースデーパーティー開催

中野寛成先生 & 岸本隆司豊鈴会会長の祝賀会

⑤介護活動の実施

チャーチル会京都 幹事長 木津谷文吾氏  
の車椅子お手伝い

⑥りらいぶジャーナルに小説を連載

作・ヤスコWild

⑦株式投資教室

講師 柏原幾松氏

⑧CDの会

講師 長岡壽男氏

⑨リタメンゴルフ会

幹事長 伊丹淳一氏

＜キョウヨウ・キョウイク・エイヨウ・

シヨウシヨウで健康ライフ＞

関西支部長 阿賀敏雄

・東京地区・事務局より

秋も深まって参りましたが、最近コロナ感染の  
第三波が始まってきた様子です。

東京地区行事もコロナ禍を避けて開催してい  
く予定ですが、落語会・健康セミナー・ゴルフ  
コンパ等を来春に向けて準備中です。  
詳細が決まり次第ご案内させていただきます。

2. コロナ禍を経験して

＜朝陽いっぱいのおかげ＞著者  
国立循環器病研究センター ボランティア  
前田 妙子



2011年3月11日 東北大地震が起きたわ  
ずか12分後に、Twitterで日本の地震のニュー  
スを知った英語圏の男性が「prayforjapan(日本  
のために祈る)」と投稿し、この投稿以後、Twitter  
やFacebookやInstagramなどのSNSでは  
「prayforjapan」というキーワードで世界各地  
から日本への祈りの言葉や応援メッセージが届  
き始めました。その数は24時間で数十万件を超  
えたとも言われ、その一部をまとめた本は書店で  
私の目を惹き、どれも涙の出るような言葉でした  
が、その中に今のコロナ禍でも励みとなる印象的  
なツイートがありますのでご紹介させていただきます。

＜停電の夜＞

仙台の友の言葉。

「暗すぎて今までに見たことないくらい星が  
綺麗だよ。仙台のみんな、上を向くんだ」

こんなくさいセリフが心に突き刺さった。

というものでした。

何というシンプルで素敵な励ましでしょう。  
暗すぎるからこそいつも以上に輝く星、その星を  
みつけられる美しい心。この度のコロナ禍ででき  
なくなってしまったこと、失われたものはどの人  
の生活にも数えきれない程あるけれど、そんな時





だからこそみえるもの、そんな時にしかみえないものもきっとあるのでしょう。

世界じゅうの人々が知恵と工夫、温かい気持ちで様々な新しいことを考え、共有し、恐ろしいウイルスという脅威の前にあって地球は一つ、地球は小さな世界なのだということも思い知らされます。世界のみんながひとつになって協力し、ウイルスを拡散せず克服すべく立ち向かわなくてはならないということもそうですし、例えば（ロックダウンの時に）イタリアのバルコニーである男性が音楽を奏で、それに合わせてあちこちのバルコニーで綺麗なハーモニーが生まれ、その動画が世界じゅうを感動で涙させてくれたこともそうです。

世界じゅうが同じものを恐れ、同じように心のよりどころを求めている、こんな経験は初めてです。アタリマエと思っていた日常が突如当たり前ではなくなってしまい、私は一番にこれから育つ子ども達をとて不憫に思いました。一年前から楽しみにしていたランドセルは背負われることなく何か月も置かれたままという私の孫もそうですが、自分の孫だけではなく、日本じゅう世界じゅうの子ども達が不憫でした。ロックダウンが解除され嬉しそうに走り回るスペインの子どもをニュースで見た時は心から嬉しく思いました。

子どもが外に出られないなどという事態は深刻です。今また欧米では感染拡大していますし、日本もいつどうなるかわかりません。テレワークやテレ勉強が急がれる日本、IT化が進むことは大切ですが、子どもは群れて遊び、目の前の友達と過ごすことが勉強よりも何よりも大切で、それが奪われた今年の春はとにかく子どもの未来がとても心配でした。喧嘩をして友達を叩いてしまった時のてのひらの痛さ、目の前の友達の涙を肌で感じて育つことはテレ勉強ではどうしても学べないことのひとつで、一日も早くコロナが収束して子どもが存分にぶつかりあって遊び学べる学校生活に戻ることを願うばかりです。

けれど一方で、戦時中の人々が逞しいように、戦争以来の国難を経験しバネにして育った子ども達はもしかしたら戦後生まれの私の世代よりも逞しくなってくれるのかも知れないという希望も持っています。ゲートによると「人間の感情

の中で最も高貴なものは希望」なのだそうで、この言葉は素敵です。

これまでの常識とは違う新しい生活スタイルも沢山生まれてくるかも知れませんが、難しいことでもなくていいと思うのです。日常のごく当たり前のことに感謝のできる心、冒頭の仙台の方の〈星を綺麗と思える心〉で、戦後最大の国難にあっても色々なものに人に感謝ができれば幸せはみつけれられるかも知れません。

私たちの暮らしは全ての人の仕事で支えられている、ということは以前からわかっていましたが、これほど様々なお仕事の方に心から感謝したのは生まれて初めてです。例を挙げればきりがありませんが、医療関係者は勿論のこと、スーパーのレジでたくさんの人と密になる店員さん、知らない家へ荷物を届ける宅配の方、私たちのごみを集めて下さる方々のウイルスへの恐怖は今大変なものだそうです。

この春コロナに戸惑っていた頃の私は「病院に行くのは今は怖いよね」「スーパー混んでいたらどうしよう」等と言っていましたが、全ての方々が大変な恐怖、不便、不自由の中におられることを知ってから、私は以前と少し変わりました。宅急便を受け取る時、ごみを出しに行く時、レジに並ぶ時、診察室へ入る時、そこに関わる方々への感謝が増しているはずで。様々なお仕事のご苦労を想像し、感謝し、自分の日常生活がごく当たり前に続くものと思っていたコロナ以前の自分をちょっぴり反省してもみました。

コロナへの恐怖はまだまだ続き、楽しみにしていた主人との海外旅行も何年先になるかわかりませんが、以前よりも優しい気持ちやありがたい発見ができたのであれば、それはコロナがもたらしてくれた星のひとつかも知れません。

そして、こういう時はクスッと笑うのもいいようですので、私が毎年楽しみにしているシルバー川柳の今年の作品をご紹介させて頂いて終わりと致します。

**スクワット シャーガんだままで 立てません**

**耳鳴りも ぴーしーあーると 音がする**

**ばあさんの 手作りマスク 息できず**



### 3. 蹄鉄を落として

会員 鳥居 雄司

#### 北海道には梅雨がない

今回の大会は6月下旬です。東京は梅雨真っ盛りですが、北海道は梅雨がないと言われています。この時季に北海道に来ると爽やかで青空が見えて素晴らしい天候に恵まれると以前からずっと考えていました。ところが来てみると期待とは違って、雨の日もあれば嵐かと思われるような日もあり、安定して良い気候が続くというわけではありません。確かに梅雨前線は北海道よりずっと南に停滞していますから、前線の影響はありません。しかし日によって随分天候が違います。気温が東京の3月頃と思われたり、高い時は8月の真夏ではないかと思われたりします。ですから北海道に来る準備として、初春から真夏までの衣類と晴天、雨天の組み合わせを考えながら支度をします。

#### 騎乗する馬は

さて、今回騎乗する馬は馬齢10歳の牝馬です。これまでに乗馬クラブで騎乗した馬名が149頭になる経験から、10歳前後の馬は馬体が十分に成長し、運動能力も高く一番活発に動ける状態という印象を持っています。馬齢×4で人の年齢と言われるので、40歳の人間にあたるのでしょうか。私は、エンデュランスの大会参加に加えて、乗馬クラブで馬場と障害のレッスンを受けています。10歳前後の馬は非常に活発に動くので、初心者は手こずることが多くあります。私の属している乗馬クラブで初心者のレッスンに当てる馬は馬齢で15歳、20歳、場合によっては25歳ぐらいです。これらの馬はレッスンで人を乗せていることに慣れているので、予想外の動きや不安定な状態が少なく、初心者のレッスンに向いていると感じています。乗馬クラブで10歳前後の馬は、個性が際立つと言うか、癖が強いと言うか、わがままと言うか、乗り手の様子によって、全く勝手な動きをすることも珍しくありません。会員の中で頻繁に名前があがることの多い馬の世代です。専用馬に指名をして、いつも同じ馬に乗ろうとす

る方がいたり、反対にあの馬には乗りたくないの  
で避けようとする会員もいます。ということもあり、馬齢10歳の今回の馬もとてつもなく活力があり「疲れ」という言葉を知らないのではないかな  
と思うほど活発に運動できる馬です。騎乗する私は高齢者で体力は乏しいので、完全に馬が勝っています。

大会の前日に馬の獣医検査があります。この検査では馬の状態が大会の出場に十分かどうか判定します。馬の体調を示す13項目は全てA評価でした。評価A、B、C、Dは優、良、可、不可にあたり、D評価があると出場できません。心拍数は安定状態で毎分44拍、運動直後で毎分52拍でした。心拍数は毎分64拍以下で合格です。したがって非常に良い状態で大会に臨むことができます。

#### 30kmを2時間ほどで



この大会で80kmの距離に出場することにしました。80kmは30km、30kmそして20kmの3区間で構成されます。1区間の30kmを走ると獣医検査をして、次の2区間30kmの走行が可能かどうか判定します。今回は出発が6時でした。1区間を走行し、到着した時刻が8時4

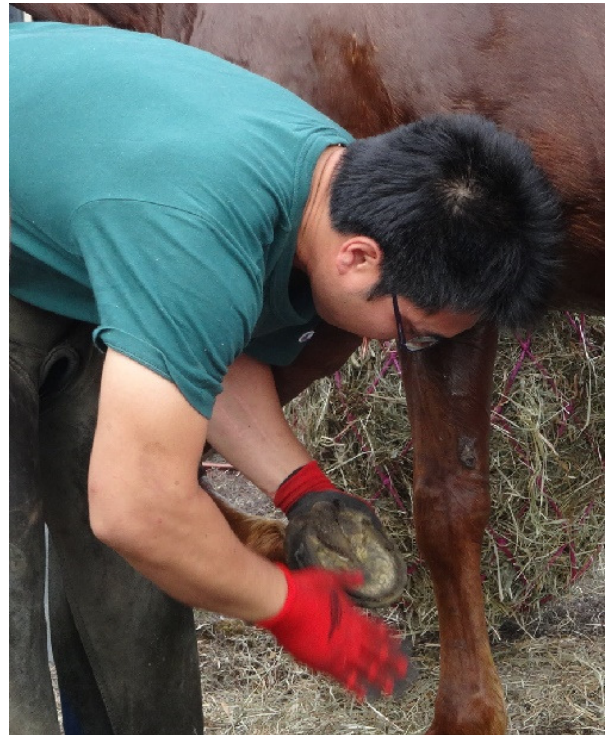




分でした。2 時間 4 分の走行時間です。長距離競技なので、走行にあたって区間ごとの走行時間を事前に想定しておきます。今回は 1 区間を 2 時間 30 分で想定したので、予想より 26 分早く走り終えました。エンデュランス競技はタイムレースで、なるべく短い時間で走り終えた人から成績が決まります。私は着順より、完走できたかどうかを優先しています。馬の様子を見ながら各区間の獣医検査に合格して完走することが一番の目標です。1 区間の 30 km を 2 時間でゴールしましたが、馬に 2 時間も乗って飽きることはないのかと聞かれることがあります。馬術の競技で代表的な馬場そして障害の競技時間は数分です。数分の中で集中して競技に臨んでいます。これまでエンデュランスで競技中に飽きを感じたことは全くありません。渡されたコースの地図に示されたルートを見間違えないように、馬の状態の変化を気にしながら駈歩、速歩、常歩を選択したり、あらかじめ立てた計画と比べて遅れているのか進んでいるのかペース配分を考えたり、途中で馬に水分補給をさせたり、馬に負担がかからない乗り方を考えたり、周りを見ながら景色を見ると同時に馬が緊張するような物がないかどうか見たりしています。例えばコースの脇にロープが落ちていると不審なものと思って避けるため横飛びをしたり、牧場の脇を通る時、遥か離れたところで牛がこちらに向かってくるような動きをすると、避けようとして牛と反対側に逃げたり、大会の様子を写真に収めようとコースの脇にしゃがんで下からのアングルで選手を狙っている人を見て、不審な生き物と思って飛んでみたり、風で舞っているレジ袋を見て不安定になったり、結構色々なことがあります。

### 1 区間到着後に

2 時間 30 分の予定を 2 時間 4 分で到着しましたが、到着前 3 km くらいから頭を大きく上下に振るようになりました。馬の頭は大きく、重さは 50 kg 程度と聞いたことがあります。人の場合は体重の 10% が頭の重さと言われているので私の場合だと 6 kg になります。大きくて重い頭を上下に大きく振るので、馬に何か起きたのかもしいないと思いながら到着しました。到着すると左前脚の蹄鉄が失われてました。落鉄と言います。



1 区間のコースを見直すとこのコースは砂利道がほとんどのコースです。これまでもこのコースは何回も走っていて落鉄は初めての経験です。大きく頭を振っていたのは落鉄を頭の上下の振りでバランスをとっていたのではないかと思います。調べてみると蹄鉄は装蹄師と言う専門がつけているので外れることはほとんどありません。何かの拍子で運悪くおきると言われています。1 区間後の獣医検査に向けて新たな蹄鉄を急いで着け直しました。心拍数は毎分 56 拍なのですが、獣医さんから、呼吸が早い、毛細血管再充填が遅く血流不良で疲労が蓄積しているという指摘を受けました。

水分を補給し、「馬の不調を感じたら最寄りのクールポイント（クーラの支援を受けられる指定された場所）で連絡するように」と馬主さんの指示を受け、2 区間の走行に入りました。ゆっくり慎重に走り、給水場所 3 カ所で水を飲ませ、体調を回復した様子が見られました。ところが 20 km 地点あたりから後脚が沈み込む歩様が見られるようになり、同じ左前脚の落鉄を確認したので、残念ですが棄権しました。2 区間で次第に馬が復調してきたので、完走を目指して慎重に走行していましたが予想外の結果でした。



#### 4. ジュリエット・グレコ

ヤスコ Wild  
NPO 法人関西シャンソン協会理事長  
会員 杉山 泰子



生きながら伝説の人であった、ジュリエット・グレコが2020年9月23日、ついに亡くなりました。93歳でした。

クラシック音楽を聴かない人でもベートーベンやバッハという名前を知っているように、展覧会に行ったことがない人でもゴッホやルノアールの名前を知っているように、グレコという人の名前はシャンソンファンでなくても、ご存知の方が大勢いらっしゃると思います。

「グレコ」という名前から、どんな人を想像なさるでしょうか？

「グリコ」？いえいえ、それはキャラメルでしょう？

けれどキャラメルつながりでグレコの名前が頭に入ってきたという人もいらっしゃるかもしれません。

ジュリエット・グレコといえば、  
黒い髪と黒い瞳、黒い服。  
フランスを代表する神秘的でインテリな歌手。  
アメリカの雑誌ライフの表紙を飾った人。

実存主義者サルトルたちに育てられたスター。  
ジャン・コクトーの映画「オルフェ」で、  
ジャン・マレーと共演した人！

レジスタンスの活動家。  
ボリス・ヴィアンの音楽友達。  
サン＝ジェルマン＝デ＝ブレのミューズ。  
「枯葉」という歌を歌った人。  
アメリカのジャズトランペッター、マイルス・デイヴィスの一時期の恋人。

と数え上げたらきりがなくらいのキャリアをお持ちで、素晴らしい才能を持った人です。若くしてシャンソンの頂点を極め、亡くなる寸前まで、そのキャリアを高め続けました。

私もシャンソンを始める前から「グレコ」という名前を知っていたので、シャンソンを勉強し始めの頃は、グレコの二枚組のLPを聴いて勉強しました。

ところが、10分もしないうちに眠気が襲ってきましてレコードの片面の終わりまで聴いたことがありません。

何故そんなに眠くなるのかといえば、  
第一にフランス語が分からない、  
第二に話すような歌い方で譜面通り歌わない。  
第三に聴いたことのない曲ばかり  
(枯葉を除いて)で、なじみが薄い。

それなのになぜ彼女のレコードを聴き続けたか  
というと、感性に訴えかけてくる何か特別な魅力があったのじゃないかな。



私が最初に日本語の詩を付けたシャンソンはグレコが歌っていたシャンソンでした。「懐かし



い恋人への歌」というジャック・ブレールという歌手であり作詞、作曲家もした人の作品です。

「懐かしい恋人への歌」という日本語のタイトルがついていますが、古くからの恋人というのが本来の意味に近いものです。

この曲は、長く一緒に暮らしている二人の物語です。

けんかをしたことや浮気をしたこと、家出をしたこと、こどもが欲しいと思っていたのにできなかった苦しみ、などいろいろな要素が入り交じった曲です。

ついには情性だけで暮らしているのではないかという関係になってしまった二人。それから時間が過ぎ、晩年になってふと気が付くと、やっぱりあの人を愛している自分に気が付くという曲です。

私はこの曲の日本語の詩を20歳の終わりのころ書きました。はっきり言って当時は複雑な男女の心のやり取りは分からずに作ったのですが、苦労を重ねた今ではしっかり自分の言葉として歌えます。

### 懐かしい恋人への歌

#### LA CHANSON DES VIEUX AMANTS

詩 J.Brel

曲 G.Jouannest J.Brel

訳詩 ヤスコ Wild

今でも柱の時計はみんな覚えてる  
ふたりっきりで過ごした甘い愛の時を  
どんな言葉ももどかしい位  
互いを確かめあった  
けれどいつの間にか  
風が騒ぎはじめ 稲妻が闇を裂く

モナムール 懐かしい愛の日々よ  
今も残り火は消えずにジュテーム アンコール  
ジュテーム (今も愛している)

あなたの作った罠に落ちて溺れたの  
二人のあの出会いを何度呪ったか  
あなたの浮気もむごい仕打ちも  
みんな耐えてきたわ

繕い笑いの陰で 崩れて行く愛をじっと私は見てた

モナムール 懐かしい愛の日々よ  
今も残り火は消えずにジュテーム アンコール  
ジュテーム

夕暮れの道を一人は辛いもの  
若さゆえのあの過ちをなぜ許せなかったの  
あなたの居ない部屋は暗く冷たく私を包み込む  
今ごろあなたは たった一人で私を待って居るかも

モナムール 懐かしい愛の日々よ  
今も残り火は消えずにジュテーム アンコール  
ジュテーム

今、別々に居るわけではなくて、傍にいるかもしれない、けれど心は離れてしまっているかもしれない、という複雑な関係です。

分り易く言えば、家庭内別居かもしれません。本当のところはジャック・ブレールに訊きたいところです。

一生の間に、人は何度恋をするのだろうか？

私の知り合いの自他ともに認める、ある恋多き女性は95歳で亡くなる前に「何度も恋をしたけれど、本当に好きだったのは、たった一人ね」とおっしゃっていました。

それから何年かして私は「孤独への道」という日本語の詩も書きました。

この曲は「ついにお迎えが来た！私はただいますぐにそこへ行きます」という内容です。

これでよし、というタイミングであの世に行けるのが望ましいのですが、大概の場合、まだこちらの頭はしっかりしているのに、恋だってできるのに、思いがけず早めにお迎えが来てしまった、という内容です。





## 孤独への道 J 'arrive Jacques Brel

(ジャリーヴというのは ただいますぐにそこ  
に行きますという意味です)

湧きおこる黒い雲 音のない世界  
はるか遠く浮かびあがる 一筋の光が  
凍てついた心か静かに動き出す  
目に見えぬ力にひきよせられて  
ジャリーヴ 今私は行くわ  
死の使いがもたらす 十字架に従い  
行くわ  
ジャリーヴ 旅の支度なんかまだ出来  
ちゃいないけれど  
どっちみち引き返す事のない旅だから  
いいの  
ジャリーヴ だけどまだ生きていたいわ 愛し  
たいのもっと  
ジャリーヴ 分かってるわ ジャリーヴ  
今すぐにそこへ行くわ

菊の花が咲くたびに孤独はつる  
こんな風に思いかげず死が訪れた  
ジャリーヴ けれどまだ私の右手には花が咲き  
星が輝き  
太陽も希望さえもあるのに なぜなの  
ジャリーヴ 左手にはもう死の冷たさが 肌に  
感じる程近くに  
寄りそってきたわ いやよ

ジャリーヴ 生きたいの 夏まで 春まで  
いえ明日まででも  
ジャリーヴ 分かってるわ ジャリーヴ  
今すぐそこへ行くわ

ここ数年前から、「シャンソンの巨匠たちを歌  
う」と銘打ったコンサートを他のシャンソン歌手  
たちと共に開催し、そのシリーズですでに20人  
もの巨匠たちの作品を紹介できるに至りました。  
私はダリダ、ソヴァージュ、ヴァルタン、グレコ  
などを担当してきたのですが、グレコの担当だっ  
た際、「裸にさせて」という歌を歌うことになり  
ました。

日本のシャンソン歌手たちは誰もこんな恥ず  
かしい曲は歌わないけれど、グレコの代表的な曲

だから紹介する必要がある、という訳で日本語の  
詩を書きました。

毒を食らわば皿まで、ワイルドなヤスコは行く  
ところまで行きました。

グレコは80歳を過ぎててもこの曲を歌って、男  
たちをうっとりさせていましたね。

## 裸にさせて Deshabillez-moi

作詞はロベール・ニエル Robert Nyel

作曲はガビ・ヴェルロー Gaby Verlor

1. ブレスレット ネックレス 背中ボタン  
はずして  
他の男たちと ム〜 違うやり方で ム〜  
ゆっくりと  
むさぼるように 見つめないで 恥ずかし  
いから 時間を かけて

心がほぐれ 体がほどけ この空気に溶け  
込んで  
こだわりが消えてゆくまで 慌てないで  
いてね

2. 耳元で 囁いて 甘い香りで 酔わせて  
やわらかい指で ム〜 胸元にふれて  
ム〜 優しく  
その肩に もたれながら あなたの温もり  
この肌に 感じ

小鳥のように 魚のように 解きはなだれて  
あなたを 欲しくなるまで 待って いてね

3. 身をまとう ものは皆 もうなんにもいら  
ないわ  
早くこのドレス ム〜 脱がせてほしいの  
ム〜 手伝って

男らしい その胸に 抱きしめられたい  
壊れるほど 強く  
裸にさせてね あなたも脱いで 早く

グレコさん。いろいろ教えて下さって本当にあ  
りがとうございました。

映画「オルフェ」では、黄泉の国に行ったり来  
たりしていたあなた。

本当に黄泉の国に行ってしまったわたのですね。  
心よりご冥福をお祈りします。



## 5. < 街路の臭い > < 新老人? 新世界? >

会員 赤神 潔

### < 街路の臭い >

カナダへ移民して来る 1 年程前、今から 50 年程前、日台通商親善使節団として、台湾の台北市、ボコ島へ呼ばれて行った時、夜、台北市で屋台の街へ連れて行かれてご馳走になりました。

日本の都会から行かれた他の 10 人程の社長さん達は気が付かず、喜んで飲食していましたが、私は、酒も飲まず、奈良の山の中の空気の綺麗な所から行ったので、足元の穴の開いた鉄板で蓋をしたドブの腐った臭いが気になり何も食べられなかった事があります。

4、5 年前までは、日本の何処へ行くにも自動車で走り回っていました。妻が認知症、腰痛、膝痛になり、日本では、自転車もやめて、今は歩く事に重きを置き、大阪にいる時は自宅の周りの公園を歩き回っています。自動車で空調を効かせて車道を走ると気がつかないのですが、止めて歩き始めて、直ぐ気が付いた事。

街路の臭いの悪い事。（過去に、2 人の知人に相談した事あり。）

ドブの腐った臭いでは無く、水洗トイレの汚水+温かいシャワーの汚水とでも言う悪質な臭いが閑静な住宅地の歩道の所々を占拠している。

観光都市ヴァンクーヴァー市では、ビルディングや市街道路、公園、パーキング場等の雨水は、専用のパイプで直接海へ流しています。

生活用水並びにトイレの糞尿洗い水は、マンホールで密閉したパイプで集められ、処理場へおくられます。よって、臭いは街路へ出ないわけです。  
(City of Vancouver.ca)

日本の他所の町、北摂、東京の事は私には分からないので、白紙です。

大阪の特に私達の歩く本町、天満、難波、天王寺区、特に、阿倍野区、東住吉区では雨水も生活用水もシャワー水、水洗便所水も、一部を除いて、

家の前で一本のパイプにはいる様です。

知人の理髪店の主人が言うには、「家を新築した際、排水管は樋の水も含めて、確か一本だった。」そうです。

ある大阪の政治家志望の人知人女性によると、「あの独特な匂いはおっしゃる通り雨が降る前後は特に感じますね。日本では特に。他の地域でも感じたことはあります。」

「ある市会議員の先生は排水工事は大阪市はきちっと管理して行っている」とおっしゃったそうです。

一般的に、街路と古い家の境界に雨水用の側溝があり、鉄製で格子状の側溝の 50 センチ x50 センチ程のインスペクションボックス(?)の蓋を開けると、そのボックスの底に、もう一つ格子状の蓋(?)があり、その下に下水管がある設計の様です。ここで、側溝を流れて来た雨水が下水管に入る様です。この下水管の底に人糞があるのを、2、3 年前に見かけました。

日本国中、大阪中、全て同じ構造ではないでしょうが、下水管に雨水を取り入れる場所から、人糞、温かいシャワー水、温かい風呂の汚水、その他生活用水の臭いが、鉄格子を通して、市街路へ出て来る様です。

特に、古い、密集地、アパートの多い所、雨の前後、風の少ない朝夕、用便、シャワー後等。

日本のトイレはこの 50 年間で、汲み取り式から水洗、温水洗浄、温風乾燥と見える部分は、著しく世界に誇れる進化をしました。その進化の過程で、水洗便所汚水をそのまま既存の雨水+下水管へ流す事を基準とした事が原因だと思えます。

臭いは、細かい物質です。その細かい物質の浮遊するなかで、国民がその管理規準に慣れっこになって普段気付かず、綺麗な洋服を着て、散歩したり、電動チャリンコに乗ったり、登下校、出勤、買い物、育児 etc. etc. etc. している訳です。

規模にも寄りますが、出てくる腐敗ガスによっては、クライメートチェンジ、カーボンフットプリント、にも関わる問題かもしれません。

今年の 1 月頃、香港のアパートで COVID-19 の死者が出ましたが、その人の階下の人が陽性で



ある事がわかり、水洗便所の設備が不完全で、人の糞尿で、感染するのはないか？と問題になりました。

オリンピックや万博で、世界中から人が集まります。管理規準の厳しい“匂いの先進国”から来た人には、この汚水の臭いは、逃げ出したくなる様な臭いだとおもいます。

大阪都万博では、立派な会場施設建設か？正しい近代的な下水環境管理か？日本国民が国際社会の中で選ぶ、Social Value の問題だと思います。

見えるものを優先するか？見えないものでも、臭えば恥ずかしい。

下水管にはネズミが付き物で、コウモリはネズミ科です。野生コウモリが発生源と言われるCOVID-19 が変異して、人間の健康を害する実害が出ると大変です。

早急に全国的に調査して、根本解決を！

### ＜ 新老人？ 新世界？ ＞

「年寄り思いの親切」に甘えない(騙されない)事。

日本の乗り物に設けてある優先座席は、以前から出来るだけ利用しない事にしている。

すいている時も、親切な若者に席を譲られても妻は座るが、私は謝って、絶対に座らない。

外では常に、30 キロほどのバックパックを担いでいるから、バランスを崩して、人に衝突して、迷惑にならない様に、細かく先を読み、対応しなければならない。

私は極端な考えかたをして、「優先座席は、日本社会が、我々の老化を何とか体良く加速して、早く死んでもらおうと言う本心の現れで、陰謀で有る」と思う事にしている。

昔の日本のように「親孝行、年寄りに親切」を、額面どおり「美談」と受け止めると、場合によってはとり返しのかからない事に成る事請け合いです。子供に家事を手伝ってもらうのも、場合によっては良し悪しだ。

50 年ほどの時間の経過が、文化や環境の進化に伴い、善悪の基準を 180 度ひっくり返した良い例だ。

子供や孫から、車付き簡易座席付きの買い物かご、楽な杖、ブザーのなる湯沸かし器、忘れないための 1 週間分の薬入れ、電動釣り道具、電動自転車、電動階段昇降機等のプレゼントを貰い、目を細くしてだらし無く喜ぶ等、1 部の例外をのぞいてもっての他である。

近年の自家用車の普及と、エスカレーター、ムービングウォーク、エレベーター、技術革新、経済成長は、こちらが普段から良く吟味して程々にして付いていかないと、運動不足になり、密かに肥満、成人病と身体的老化を促進する事になる。

実は、自家用車やトラックの運転、その他作業機械の運転は、いかにも全身で相当な労働をしている様だが、どっこい身体の一部しか使わず、永く続けると、身体が変調をきたして全くかたわになる。

こう考えると、コンビニも、インスタント食品も、レトルト食品も、出前も宅配も単純には喜べない。手間を省いて簡単で、便利で、楽で美味しいが、その工夫の一部は、実は我々近代人を洗脳し、毒し、密かに痴呆にし、腰抜けの腑抜けにしている。

うっかりしていると、こちらに分からない無いように狡猾に生活に浸透して来るからどうしようも無い。

「簡単で、便利で、楽は、近代人には禁物の悪魔のさしがねだ。」

一方、日本の一般の家族が小家族になっている事が、子離れした我々年寄りに自立を促し、失敗反省を繰り返す、悩み、工夫、勉強、努力を要求してボケ防止になり、長寿に良い結果を及ぼしている場合もある。

カナダのヴァンクーヴァーにも住んでいる我々は、COVID-19 でソーシャル ディスタンスが始まり、ジムやプールが利用出来なくなった。

年寄りには、買い物も若者にしてもらい、出来る





だけステイホームとの政府の意向で、子供や孫にも、友達にも会えない。

ワクチンが製造されて、このパンデミックが終わる頃には、大量の老人が腑抜けになる可能性が出てきた。

仕方がないので、知恵を絞って、コンドの自分のユニットの中で、いつもの様に、バックバックを前後に担ぎ、細かく壁伝いに隅からすみへと歩き回った。バスルームの中でも壁伝いにバスタブまで行き、バスタブの横を歩き、トイレトボールの前を通り、2個あるシンクの前を通り、大きな鏡に写る自分の姿勢を矯正し、ベツトルームへと進む。

1日に1万歩-2万5千歩以上、歩きながら、途中テレビのBNNビジネス番組やTCMクラシックムービーを見たり聞いたり、窓の外のダウンタウンのビルディングや山々、眼下の公園に居る人やスーパーに入る人々、White houseからのemailsに目を通したり、教会の前の車の数や、病院の屋上でバラバラに憩う人々や、日本のjiji.comを見たり、港の船の数や、市役所前の人々や車の動きや、時にはマウントベーカーの残雪を確認しながら、コマネズミの様に歩き続けた。

気づいた事だが、狭い部屋の中を本気で早く歩けば、体を捻ったり、バランスを取って曲げたりで、公園を何も持たずに ぼんやり歩くより、一層、足指、足首、膝、腰、ひいては、全身の運動になる。

又、自分のユニットを出て、コンドの中の(非常)階段は、その住民が日常能動的に利用する為に有ると思え出した。地震や火災、非常事態だけに利用する物と定義付けるのは昔の販売業者側の狡猾な企みである。

普段、その天空の仙郷に住み着いた時から、エレベーターが使えない時のことを考えて、それぞれ住民は、毎日、身体を少しずつ慣らし、階段、駐車場を含めた住環境に充分順応すべきだと思う。

長所は、わざわざ運動器具を狭いユニットに買い込まなくても、出かけなくとも、ある程度の運動が自分のビルディングの中で出来る。痴呆症の妻を永く家に放置する必要もない。夏でも冬でも

適度な温度調整がなされている。市の許可が出れば、スチームバス、プールにいつでも飛び込める。

其れに順応する身体が出来てこそ、天空の仙郷に住んでいる全価値を充分に享受する事になる。その住民には、それなりの努力目標があって当然。

不動産屋にごまかされて、便利で、楽で、安全で、視界が開けて気持ち良いと、長所ばかりに囚われて、それに気が付かないで怠ると、自業自得の結果、数年で、白内障、肥満と糖尿、老化、痴呆、自滅と言う事になること請け合いである。

高層マンションの上層部には、お年寄りが住んでいる場合が多いが、果たして地上から階段で自宅まで、何度上下した経験が有るのだろうか？

その住人達は、当然、義足予備軍で、ウォーカー、ウイルチェアーの使用候補者でもある。

哀れな事に、エレベーターは、非常用発電機もあり、何時も間違いなく作動する物と信じて疑わない。

一旦、非常ベルが鳴り、エレベーターが使えなくなると、太った老人が、廊下で大きなウォーカーを振り回して、助けを求めてうろろうしている。彼女は、ウォーカーに慣れているので、ウォーカーを手放して、手摺りを持って階段を降りるのが怖くて出来ない。

此方も歳をとっているので、昔の様に、彼女を肩に担いで地上まで階段を降りて助ける自信がない。

しかし、こうゆう老人を見棄てて良いのか？一瞬、生死を賭けた断腸の想いをする。

こうゆう老人は、この様な時に他人に迷惑をかけ無い様に、早めに天空の棲み家をキッパリ諦めて、地上階へ転居するべきである。

とっさに、心の中で、「貴方の自業自得です」と諦めてもらい、見捨てて置き去りにして、地上に着いたらファイヤマンに通報する事にした。

此方は、痴呆症で、腰痛、膝痛持ちの妻1人の安全をかくほするので手一杯だ。

毎日、1人で17階まで、階段を登り始めると、初めは辛いけど段々自信が湧いてくる。

実は欲目でハゲ頭の皮脂まで若返る事が出来る様な気がする。



腹の脂肪が減って、血圧も相当低くなった。  
ピッチが上がり、血管が若返り、心臓が目覚めて、慣れて来た様で嬉しい。

実は、知らぬ間に、平地を歩く早さにも変化が現れた。幸い、階段では途中殆ど誰にも会う事がない。今の所、階段は私の使い放題の独壇場である。毎日6-10回、トータルで約100-150階と言うと、階段で1500段以上はある。

2台あるエレベーターのどちらかで地下1階駐車場まで降りる。自分のクルマの存在を確認し、歩いて地下2階のもう一つの自分の駐車場所を確認して、地上まで2階段を昇り、コートヤードの噴水や花畑、インドアプールを横目に通り抜け、2箇所ある非常階段の一方を徒歩で登る事している。慣れて来ると1回10分もかからない。勿論、気分転換に歩いて全階段を降りる時もある。

高層住宅の真価は、誰も気が付いていない、この辺に有るのかも知れない。階段を登りながら考えると色々な妄想が湧いてくる。

1階上のジョーの様に、奥さんとサイクリングに出かけて、倒れて、胸部骨折するより安全かもしれない。

子供たちは、このパンデミックで、親父たちが運動不足になって、近く死ぬのを、もう覚悟しているかも知れない。一般的に、生物は子供を何人か産み、育て、1人前に成長すれば、その使命は達成し、当然終了する。

我々近代年寄りの寿命が伸びてきたが、果たして、生物学上、何故のびているのか？理由がある筈である。

こんな馬鹿げた事を考えながら、階段を登っているのは、世界中で私だけかも知れない。

遅滞きながら、自分自身が、階段登りの価値に気付いた事自体が実に嬉しい。

このままバックパックの重りを増やし、全身を活性化して鍛えて、18歳の頃と同じ体重75キロで、ハゲ頭の化け物の様な「新老人」に生まれ変われるかも知れない。

ひょっとしてその時「新世界」が、又、開けるかも知れない。

妻を抱えて登り降り出来る様になりたい。痴呆症の妻は1日に1回は私の勧めで同行するが、身体が小さくて、軽いので、自発的に私の先を行く。

私は階段を早く飛び降りることや富士山を走って下る事が得意だが、飛び降りると音を立て、階段をドンドン叩いてコンクリートに傷をつけるので、今、ビルディングの中では、静かに、音を最小に登る事に専念している。

私の骨密度は、努力の結果、幸い28歳。リタイアしてから、身長が1cm程伸びた。

酒は1滴も飲まない。タバコは30年ほど前に辞めた。スイーツや焼肉は、約50年前にカナダに来てから、だらし無く大量に食べてしまったが、妻が腰痛、膝痛みを訴え出してから、たまにだけ。

幸い私の身体は、今、膝も腰も肩も、まだ、どこも痛くない。

現在78歳、77キロ、180.5cm。

(新老人?)

発行：特定非営利活動法人 リタイアメント情報センター (R&I)

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル18階 ヴィップシステム(株)内

●TEL 03-5860-9483 FAX 03-5860-9477

●事務局 TEL 080-9982-6237

●事務局 E-mail: haruo\_shimamura@hotmail.com HP: <http://retire-info.org/>

(発行責任者) 事務局 島村 晴雄